

2020年 6月 26日(金)

未来への扉



高等特別支援学校 支援部 第133号

『褒める 伸びる』

2 学年 支援部 M・T

私も本校に着任し、早いもので1年が経ちました。昨年度末からは、新型コロナウイルス感染拡大防止の取り組みで卒業式の延期、3月初めからの長期臨時休業、入学式・始業式も毎年とは様式を変えての実施と生徒の皆さんも保護者の皆様方も先が見えず、落ち着かない日々を過ごしてきたことと思います。6月22日からやっと3学年全員が揃っての授業が再開し、以前のような活気のある学校に戻つつあります。「手洗い・うがい」「マスク着用」「三密を避ける」など新しい生活様式を実践し、第2波・第3波が起こらないように努めていかなければなりませんね。

今回の「未来への扉」は私が研修等で学んだことを紹介させていただきたいと思います。

さて、皆さん『**ポジティブな行動支援＝PBS (Positive Behavior Support)**』という言葉を目にしたことはありますか？

『ポジティブな行動支援』(以下『PBS』)とは、当事者のポジティブな行動(本人のQOL(Quality of Life)向上や本人が価値あると考える成果に直結する行動)をポジティブに(罰的ではない肯定的、教育的、予防法的な方法で)支援するための枠組みのことです。

PBSでは、望ましい行動に注目し、教える。褒める・認めるを繰り返すことで、望ましい行動を増やします。そして、結果としては望ましくない行動は減っていくことになります。

私の解釈にもなりますが、例えば、片づけが苦手な、何時も散らかりっぱなし。でも、掃除になるととても真面目に丁寧に頑張る子どもがいたとします。教える側の大人はどうしても「望ましくない行動＝何時も散らかっている事」にばかり注目してしまい、注意しがちです。でもPBSの考え方では、「望ま

しい行動＝掃除は真面目に丁寧にできる。」に注目し、褒めて、認めてあげる。そして、正しい整理整頓方法という望ましい行動を教えることで、子どもたちが変化するという考え方です。

私も家庭では、二人の子の父親として日々子育てに奮闘中ですが、どうしても望ましくない行動に注目してしまいがちで、「片づけなさい!!」「集中して勉強しなさい!!」など望ましくない行動に注目し、叱責や注意ばかりしてしまっています。私自身、反省の毎日です(-_-;)

次にPBSの効果を高める褒め方について紹介します。

- ① 具体的に褒める→何でよかったのか、わかりやすい。
- ② すぐに褒める。
- ③ 最終的なゴールに到達していなくても、今できているところに注目して褒める。
- ④ 褒める側の思いを伝える。
- ⑤ モデルとなる他の子の行動を褒める→どうすればよいのかを伝えることになる。
- ⑥ 子ども同士、教える側同士で、できているところや良いところを見つけて、認め合う。
- ⑦ どの子ども、褒め・認められる機会を!!

一方で、今までの話を聞くと「叱ってはいけないの?」という疑問が湧いてきます。私自身そう思いました。でも、PBSでは「叱る(注意する)ことも必要です!!」とされています。

ただ、叱ったら、叱った後が大切だと言われます。その子どもをよく観察し、行動を修正しようという努力が見られたりしたら、すかさず褒める。本人の努力を認め、褒めてあげることが大切とされています。

以上、PBSについて基本的な考え方のみ少し紹介させていただきました。PBSの考え方も、たくさんある子どもへの教え方・接し方の一つです。どんな方法であれ、子どもたちの主体的な行動や活動が少しでも増え、本校の目標でもある「働き続ける力」が育つことが大切です。保護者の皆様方に於かれましても、今後とも本校教育活動にご協力いただきます様、宜しく申し上げます。

うちの先生♪N・N先生

<レポーターはN山です>



☆養護教諭のN・N先生にお話を聞いてみました～

◆**今年度、養護教諭として赴任されたN先生、先生のお出身地を教えてください。**

私の出身地は兵庫県小野市です。(小野市と言えばやはりアシです)そうですね。名物はそろばんです。名物だけあって周りの友達はそろばんを習い事としていましたね。だからみんな計算はめっちゃ速かったです。ちなみに私は習っていませんから計算は苦手です。

他にはひまわりの丘公園ですね。休日となると老若男女問わず多くの方が訪れます。そして名称はひまわりの丘公園ですが夏のヒマワリはもちろん、四季折々の花を見せてくれる公園で春は菜の花、秋にはコスモスを一面に咲かせています。また入場無料で大規模なアスレチック施設もあり、年間通して遊ぶことができますよ。

また小野市は最近、市役所が移転されてすっごくきれいです。子育てに力を入れているみたいで、給食では山田錦を使用した米粉パン、通称小野っ子パンが出ます。珍しいでしょ。自然いっぱい、住みやすい町で私は大好きです。

◆**学生時代の思い出を教えてください。**

私が通っていた高校はとにかく校則が厳しくて毎月、生徒集会があったのですが集会が終わると一列に並んで身だしなみチェックがありました。頭髪チェックから始まり服のサイズまで適正か先生にチェックされました。(え、服のサイズまで)でも学生時代は厳しい学校で嫌だなあと感じながら過ごしていましたが、今となってはあの厳しい環境があったからこそしんどいときに我慢することや頑張れる力がついたと思えます。(すばらしい。)

◆**これからチャレンジしたいことはありますか？**

たくさんありますよ。最近、料理にはまって体に良い食材で作ることを心がけています。祖母が野菜や味噌を作っているので新鮮な食材をゲットして料理づくりにチャレンジしています。今後は家庭菜園、ガーデニングにも挑戦してみたいですね。

◆**最後に高特生へ一言お願いします。**

今年度、赴任したばかりなので高特のいいところや生活のことを教えてもらえたら嬉しいです。また保健室だけではなく廊下などで出会ったら元気な声を聞かせてください。